

3/19

40年以上の実践活動をたたえて ピノキオの会が教育実践表彰

町 内で活動するピノキオ読
み聞かせの会（松本秀男
代表）が2023年度胆振管内
教育実践表彰（胆振教育局主催）
に選ばれました。

同会は、1980年ごろから
現在まで40年以上、各小学校や
あぶた読書の家などで読み聞か
せの活動を続けてきました。

19日の表彰式では、同局の
針ヶ谷一義局長から表彰状が贈
られ、学校教育・社会教育にお
いての優れた実践活動をたたえ
られました。



表彰状を受け取った松本代表（中央）

3/12

虻田高校生徒会が慈善活動 洞爺湖町社協にボトルキャップ寄付

虻 田高校（千葉佳貴校長）
の生徒会が、洞爺湖町社
会福祉協議会にペットボトル
キャップ約8キログラムを寄付しまし
た。

同校では毎年、社協にペット
ボトルキャップの寄付を行って
おり、今回は昨年4月から生
徒、教職員に協力を呼びかけて
集めました。生徒会副会長の小
倉逸夢祈さん（3年）は「リサ
イクルだけでなく、様々な分野
で幅広く活用してほしいです」
と話しました。



ペットボトルキャップを手渡す小倉さん（右）

3/24

創立20周年を祝って アプタ・フレナイの会記念式典

縄 文文化の魅力を広める活
動を行っているアプタ・
フレナイの会の創立20周年記念
式典が、入江・高砂貝塚館で行
われました。神馬久夫会長は「町
民の理解をつくるためにこれか
らも学び続けながら世界遺産を
守っていきます」とあいさつし
ました。

20年間の歩みを振り返るスラ
イド上映も行われ、会員は貝塚
の保全活動や縄文まつりなどこ
れまでの活動を懐かしそうに振
り返っていました。



創立20周年を祝った出席者

3/21

安全・迅速な避難方法を確認 洞爺湖町津波防災総合訓練

洞 爺湖町津波防災総合訓練
が行われました。日本海
溝・千島海溝沿いの地震による
津波災害を想定し、約100人
が参加しました。

本町保育所では、保育士が先
導し、虻田小学校まで無事に避
難。子どもたちも指示に従って
落ち着いて行動できました。

訓練後は、室蘭地方気象台の
講話が行われ、地震や津波の仕
組みなどを学び、防災について
理解を深めました。



本町保育所から避難する子どもたち

3/26

バレーボールの普及に貢献 青木さん・中野さんにスポーツ功労賞

洞 爺湖町体育協会（葛西和彦会長）の令和5年度スポーツ表彰式が開かれ、洞爺湖町バレーボール協会・青木佐智子さん、中野豊子さんがスポーツ功労賞を受賞しました。

青木さんと中野さんは表彰状を受け取り、2人であいさつしました。バレーをプレーした時などの思い出を振り返りながら「長い間、楽しく活動することができ感謝しています」と話していました。



受賞した青木さん(左)と中野さん(右)

3/25

大谷室蘭高女子サッカー部のために にぎわいネットがボール寄贈

N P O 法人・洞爺にぎわいネットワーク（阿部博孝理事長）が、北海道大谷室蘭高校女子サッカー部にサッカーボール10個を寄贈しました。

同サッカー部は、にぎわいネットが管理するポロモイスタジアムを主な練習場としており、日ごろの利用への感謝を込めて寄贈しました。

目録を受け取った浅野未来主将は「素晴らしい環境で練習できて感謝しています」と話していました。



目録を受け取る浅野主将

4/4

一日も早い復興を願って 文化団体協議会が義援金を寄託

洞 爺湖町文化団体協議会（越前谷邦夫会長）が、能登半島地震災害義援金として教育委員会に20万円を寄託しました。

善意は同協議会が主催し3月10日に開催した「洞爺湖町文化団体協議会設立60周年記念事業第39回洞爺湖町ふれ合う心の文化広場」の収益金の一部であり、日本赤十字社を通じて被災地に贈られます。

越前谷会長は「能登は郷土芸能が盛んです。一日も早く復興してほしいです」と思いを託しました。



善意を手渡す越前谷会長（左から2人目）

3/26

授業に役立ててもらえるように 商工会女性部が文具寄贈

町 内の新入学児童のために、洞爺湖町商工会女性部（横山節子部長）が、8色入り水性ペン40セットを教育委員会に寄贈しました。

同女性部は、町内のイベントなどを通じて地域貢献をしており、例年、文具を寄贈しています。今回も、新入学児童が楽しんで学習に取り組めるようにという思いから行いました。受け取った渋川教育長は「実際にペンを持つことでより楽しく学習できます」と感謝しました。



目録を手渡す横山部長（右）